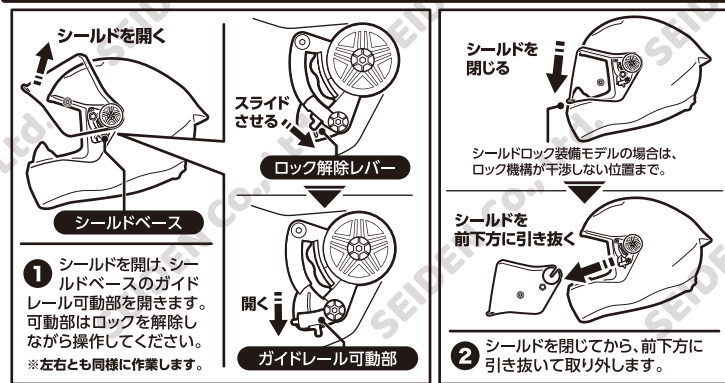


## LS2 ヘルメット シールド着脱手順

図は共通仕様モデルの例となります。

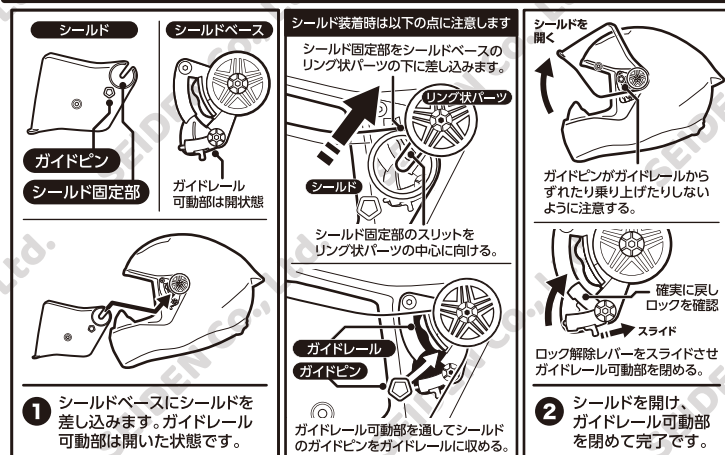
### シールドの取り外し方

※左右とも同様に作業します。



### シールドの取り付け方

※左右とも同様に作業します。



#### 注意

- シールドの脱着作業をした際は、ヘルメットを使用する前にシールドを数回開閉させ、正しく作動すること、ゆるみ・がたつきが無いことを必ず確認してください。  
※また誤った取り付け状態で無理な開閉は破損につながりますのでご注意ください。

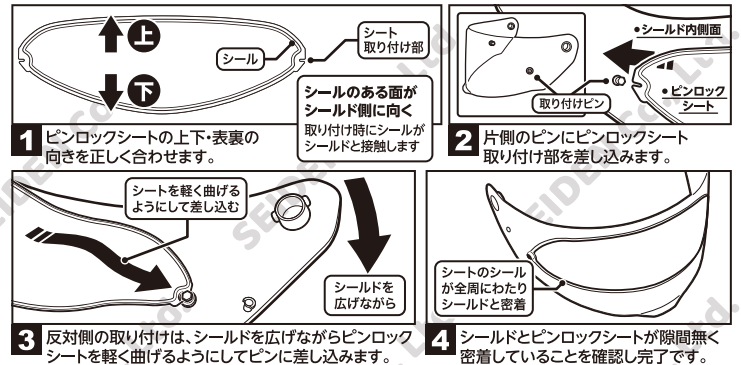
## ピンロックシートの着脱方法

### ピンロックシート着脱時の注意

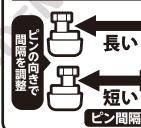
- ピンロックシート表面、及びシールドのシート取り付け面には触れないで下さい。汚れや指紋が付着すると視界の妨げや曇りの原因となります。
- 破損の原因となりますのでシールドやピンロックシートを強く曲げないで下さい。

### ピンロックシートの取り付け

シールドをヘルメット本体から取り外して行います



シールドのピンロックシート固定ピンは、2本の間隔を微調整することができます。ピンロックシートとシールドが密着しない場合は調整して下さい。

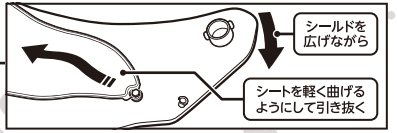


- ピンの調整は間隔の長い状態から始めて下さい。
- ピンロックシートの張りが強すぎる(ピン間隔が短い)場合、ピンを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 調整にはサイズの合ったドライバーを使用し、無理をせずゆっくり行って下さい。

### ピンロックシートの取り外し

シールドをヘルメット本体から取り外して行います

シールドを広げながらピンロックシートを軽く曲げるようにして、取り付け時と反対の手順で片側から取り外します。

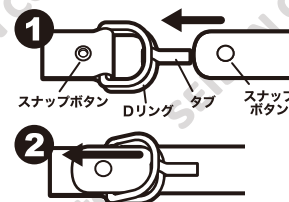


### 使用上の注意

- 低温・多湿状態での使用が長時間続くと曇りや視界のにじみが発生する場合があります。
- ピンロックシートを通した視界は角度によって歪みの生じる場合があります。
- 乾燥は自然乾燥のみで行いドライヤー等の温風の利用や加熱は絶対にしないで下さい。
- ピンロックシートに傷や曇り止め機能の低下が生じた場合は新しいシートに交換して下さい。
- シールドとピンロックシートの間に曇りや水分の浸入等が生じた場合は、シールドとシートを分離し双方を完全に乾燥させ再度取り付けして下さい。
- ピンロックシートの装着状態を長期間継続するとシートがシールドに固着する場合がありますので定期的に脱着・お手入れを行って下さい。
- ピンロックシートの洗浄は中性洗剤とぬるま湯で行い、シンナー・ベンジン・ガソリンやその他溶剤、アルコール類は絶対に使用しないで下さい。

### あごひもの着脱方法 必ず正しい着用をしてください

図示の通りにDリングに顎ひもを通します。



締め付けを調整したら、ひも先端のぼたつきを防ぐためスナップボタンを留めます。

外すときはスナップボタンを外し、タブを引くと顎ひもが緩みますのでDリングから顎ひもを抜きます。

**LS2**  
HELMETS



# THUNDER C GP 専用

## RS-1 リアスポイラー

### 取付概要書 ver.2

株式会社セイデン LS2 事業部



## 【はじめに】

RS-1 リアスポイラーは THUNDER C GP 専用のリアスポイラーです。

他のモデルにはご使用いただけません。

取付は標準のスポイラー部分を帽体から剥がし交換する仕様です。

剥がした標準スポイラーは剥がす際に力が加わることから歪みが生じ、再利用不可となります。あらかじめご了承ください。

本製品はカーボンファイバーを素材に使用しているため、織り目や末端の仕上げ、クリアの仕上げにの個体差が発生します。

標準スポイラーの先端は内側に手を回し込みますと尖った部分もございます。その為、作業の際は手袋の着用をお願い致します。また作業における怪我、ドライヤー等でのやけど、および加熱のし過ぎによる商品破損については一切責任負いかねます。ご注意の程宜しくお願い申し上げます。

装着後、ヘルメットを持ち運ぶ際にスポイラーを持って持ち運ぶことは破損の原因になりますので絶対に行わないでください。

## 【手順概要】

- ①標準スポイラーをドライヤー等で温め剥がす
- ②残った両面テープを除去、アルコールで脱脂する
- ③RS-1 裏の両面テープの剥離フィルムを剥がし、位置を慎重に合わせ貼り付ける

### ①標準スポイラーをドライヤー等で温め剥がす



①ヘルメットを柔らかい場所に寝かせます。

赤い点線の部分が標準のスポイラーです。

②指で示している辺りから矢印の方向へドライヤー等で温めます。

この際一か所を集中して加熱すると変形、破損の原因になります。

③上記②の加熱方向と同様にスポイラーの下方からスポイラーを剥がしていきます。両面テープで強く固定されていますので手袋を必ず装着し作業を行ってください。

## ②残った両面テープを除去、アルコールで脱脂する



- ①赤い点線の部分が標準スポイラーが装着されていた面です。
- ②外した標準スポイラー裏面です。
- ③残った両面テープと糊をアルコール等で除去してください。

## ③RS-1 裏の両面テープの剥離フィルムを剥がし、位置を慎重に合わせ貼り付ける



- ①RS-1 に貼り付け済みの両面テープの剥離フィルムを剥がします。  
※作業例：位置合わせの為、剥離フィルムを途中まで剥がし折り込む方法  
位置合わせの前に剥離フィルムが表に出るように注意します。
- ②完全に貼り付かないようにしながら位置を合わせます。  
この時、中心から合わせるとバランスが取りやすくなります。  
位置が合いましたら両面テープの剥離シートを途中で切れない様に引き抜きます。
- ③チリを合わせながら軽く指で圧を掛けます。  
その後全体のバランスを見て指で再度圧を掛けます。  
貼り付けから 24 時間は力を加えないようにご注意ください。

※各帽体共通品の為、両面テープの接する面、勘合に多少の差があります。  
カーボンファイバーを素材に使用しているため、織り目や細部の仕上げに  
の個体差や繊維のザラつきが生じることがあります。